

高等教育活性化シリーズ 344 (通算 675 回)

2017 年 3 月 24 日 (金)

職員の元気から大学を元気に――

# 大学事務職員の能力向上とその実際

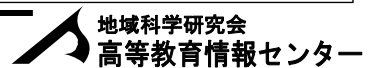
～学部教育での育成／地域連携／大学職員に求められているもの／「教職共創」の実践～

- ※ [大正大] 大学職員養成コースの取組みと教学運営の実際／学生が語る“成長のキセキ”
- ※ [静岡産業大] 「大化け提案ひとり一善二改革運動」の実際／地域連携の強化に向けて
- ※ 大学職員の今～求められるもの／SD義務化対応／専門的職員・職員規程改訂の歴史的意義
- ※ [広島修道大] 「教職共創」の取組み／教員と職員で取り組む初年次教育の実際

● 講師陣 ●

- 山本 雅淑 氏 / 大正大学 人間学部 教育人間学科 教育・学校経営マネジメントコース 教授 地域創生学部 参与
- 学 生 諸 氏 / 大正大学 人間学部 教育人間学科 教育・学校経営マネジメントコース
- 鷲崎 早雄 氏 / 静岡産業大学 学長
- 篠田 道夫 氏 / 桜美林大学 大学院 大学アドミニストレーション研究科 教授  
中央教育審議会 大学分科会 大学教育部会 委員
- 加利川友子 氏 / 広島修道大学 学習支援センター 参事

2017 年 3 月 24 日 (金) 剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)



日 時：2017 年 3 月 24 日 (金) 10：00～16：50

会 場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)  
千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷  
駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり  
ますので、必ずご確認ください。

- 参加費：A. ご一名(資料代込) 41,000 円(税込)  
B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 42,000 円(送料、税込)  
C. 高等教育同人(☆) 21,000 円(税込)

- ※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、  
開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。  
※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、  
特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。  
※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪い  
ときには代理の方がご出席ください。  
☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認  
願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、  
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
郵便振替 00110-8-81660  
口座名<(株)地域科学研究会>  
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
東京都千代田区一番町 6-4ライオンズ第 2-106  
Tel:03(3234)1231 Fax:03(3234)4993 〒102-0082  
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 344

2017 年 月 日

## 大学事務職員の能力向上とその実際

(□に✓印を)  当日参加  メディア参加  
支払方法  郵便振替  当日払い  銀行振込  
必要書類  請求書  見積書

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ) 11:40	<p>□ [大正大] 学部大学職員養成コースの取組みと実際                      ～「教育・学校経営マネジメントコース」／学生が語る大学職員の魅力～                      大正大学 山本 雅淑 学生たち</p> <p>1. 多様化する大学職員の業務                      (1) 中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」から大学職員の職能開発とは                      (2) 私学事業団「学校法人の経営改善方策調査」から教学取組みの実施状況</p> <p>2. 教育・学校経営マネジメントコースの取組み                      (1) コースの概要 (2) 3つのポリシー                      (3) カリキュラム構成 (4) 5つのピックアップ授業のシラバスを読む</p> <p>3. 各大学職員に採用が決まった学生の“成長のキセキ”                      (1) 学生による「第2回・第3回大学訪問」の発表                      (2) 学生が語る“成長のキセキ”</p> <p>4. 学生とセミナー参加者による意見交換・質疑応答</p>
11:50 ) 13:00	<p>□ [静岡産業大] 教職員の意識改革への取組みと地域連携の強化                      ～「大化け教育」の推進と「大化け提案ひとり一善二改革運動」へ～                      静岡産業大学 鷺崎 早雄</p> <p>1. 生き残りに懸ける覚悟                      (1) 小粒でもきらりと光る大学になる (2) 県民大学宣言と地域活動                      (3) 大化け教育と地域連携教育の歩み</p> <p>2. ポジティブな職場をいかに作るか                      (1) 民間企業では当たり前のこと (2) 目標管理の重要性と実践                      (3) 自主管理活動の重要性と実践</p> <p>3. 少人数教育と職員能力の重要性                      (1) 面倒見の良さの3/4は職員の教育能力に依存する                      (2) 地域連携ネットワークの開拓・維持も職員の能力に依存する                      (3) 「教職学」一体感醸成のリーダーとして期待する</p> <p>おわりに <span style="float: right;">(質疑応答)</span></p>
14:00 ) 15:20	<p>□ 大学職員の今、求められているもの—中教審議論を踏まえて                      ～SD義務化、専門的職員、法令改訂に各大学は如何に対応するか～                      桜美林大学 篠田 道夫</p> <p>1. いまなぜ大学戦略経営人材が求められるか                      (1) 定員割れを打破する力とは何か (2) 『戦略経営111大学事例集』の中の7大学の経験から                      (3) 現場にいる職員こそが改革を主導する (4) 戦略経営人材を育成する試み</p> <p>2. SD義務化—これに如何に対応し、真の力を付けるか                      (1) 職員育成の現状をどう見るか (2) 中教審でのSD議論                      (3) SD義務化の設置基準改定、通知文をどう読むか (4) 職員の真の力を付ける総合的な育成システム</p> <p>3. 専門的職員配置の議論とアドミニストレーターの在り方                      (1) 専門的職員、高度専門職に関わる中教審議論 (2) 専門的職員に関する文科省調査から何を読みとるか                      (3) 専門的職員には2つの型がある。～今日までの職員論の到達                      (4) 日本における専門職、日本型アドミニストレーターの確立に向けて</p> <p>4. 職員の位置付けに関わる法改訂の意義                      (1) 大学設置基準・第41条に関わる中教審議論 (2) 職員の管理運営参加の現状と意義                      (3) 日本福祉大学の運営参加の「戦い」の歴史から (4) 学校教育法、大学設置基準の職員規定改定の歴史的意義</p> <p>終りに—2018年問題・危機を乗り切る力 <span style="float: right;">(質疑応答)</span></p>
15:30 ) 16:50	<p>□ [広島修道大]「教職共創」による改革の展開                      ～価値観の共有／職員による「初年次教育」10年の実践～                      広島修道大学 加利川友子</p> <p>1. 教職協働から教職協創へ                      (1) 学習支援センターの設置の経緯                      (2) 初年次教育に焦点をあてた学習支援                      (3) 自立的な学習者の育成</p> <p>2. 部局職員と学科教員による「初年次教育」                      (1) 「修大基礎講座」の実施                      (2) 教職協働の実践                      (3) 部局職員が授業を担当することの意義                      (4) 教職協働を支える仕組み</p> <p>3. さらなる教職協創を目指すために                      (1) 「授業アンケート」から見えること                      (2) 「1年次生の学びのアンケート」から見えてくること                      (3) 「初年次教育」を大学4年間の学びの中で捉え直す <span style="float: right;">(質疑応答)</span></p>